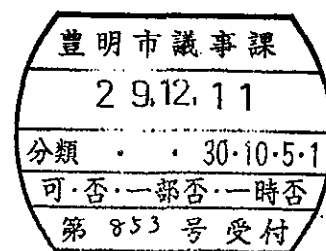


豊明市議会議長 殿

研修会・講演会等参加報告書

議員名 後藤 学



平成29年度豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日付	研修先	研修項目及び成果等
平成29年11月 15日～16日	姫路市文化センター	<p>第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路に参加 11月15日(水)</p> <p>第1部 基調講演 「議会改革の実績と議会力の向上ー政策創造の立法部を考える」 中邨 章 明治大学名誉教授</p> <p>第2部 パネルディスカッション コーディネーター 人羅 格 毎日新聞論説副委員長 パネリスト 新川達郎 同志社大学教授 大山礼子 駒澤大学教授 金井利之 東京大学教授 川西忠信 姫路市議会議長</p> <p>第3部 意見交換会 11月16日(木)</p> <p>第4部 課題討議「議会基本条例のこれまでとこれからを考える」 コーディネーター 新川達郎 同志社大学教授</p> <p>事例報告者 目黒章三郎 会津若松市議会議長 豊田 政典 四日市市議会議長 盛 泰子 伊万里市議会前議長</p> <p>※議会改革の方向を考えるうえで大いに参考になった。詳細別途報告書参照。</p>

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

第12回全国市議会議長会研究フォーラム参加報告書

後藤 学

日時 平成29年11月15日(水) 13:00～
16日(木) 9:00～

場所 姫路市文化センター

内容 11月15日(水)

第1部 基調講演

「議会改革の実績と議会力の向上—政策創造の立法部を考える」

中邨 章 明治大学名誉教授

(要旨)

議会基本条例は、H.27年現在444市(54.6%)で制定されている。他国にない試みで、議会活動の活性化に役立っているが、条例をつくることが目的になってはいけない。また、議会改革から、人口減少や大災害を見据えた政策創造へと発展させるべきである。

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター

人羅 格 毎日新聞論説副委員長

パネリスト

新川達郎 同志社大学教授

大山礼子 駒澤大学教授

金井利之 東京大学教授

川西忠信 姫路市議会議長

(主な発言)

- ・地方議会は危機的状況にある。住民が議会とコンタクト、質疑できる回路をつくるのが大切。本格的な政策条例づくりを。(大山)
- ・政策条例は不要で、総合計画の政策が予算に反映されているかをチェックすべき。議会改革とは、いい形での首長との権力闘争。(金井)
- ・議会改革は、意識してやらないと進まないの、条例をつくって手がかりに。その仕組みと議員を支えるスタッフの強化を。(新川)
- ・議会改革で今後重点を置くべき分野は、市民への積極的な情報公開と市民の参画。その意思を議会活動に反映させること。(川西)

第3部 意見交換会

全国各地からの参加者同士の交流がおこなわれた。

11月16日(木)

第4部 課題討議「議会基本条例のこれまでとこれからを考える」

コーディネーター

新川達郎 同志社大学教授

事例報告者

目黒章三郎 会津若松市議会議長 豊田 政典 四日市市議会議長

盛 泰子 伊万里市議会前議長

(主な発言)

・成果と課題

条例化によって議会のめざす目標が明確化できた。請願・陳情の意見陳述、議員間討議など具体的な成果があった。議員は交代して変わっていくので、条例化で継続性を確保すべき。

・条例制定で気づいたこと

質疑だけでなく議員間討論必要。議長選で公約を文書化・配布したことが、公約で競うことになった。条例つくったらお披露目して議員の理解、市民への周知を。

・今後の改正、運用の改革

委員間討論は論点をあらかじめ整理して行うとよい。市民とともに現条例を見直すこと大切。協働の催し物で議員間の人間関係出来ている。

・質疑(回答)

議会報告会は第3者をファシリテーターとして入れるとよい。

通年議会を超えて通期議会を考えるべき。

感想

先進議会が市民との関係を重視し、参考人制度の活用や市議会モニター制度の導入、請願・陳情者の意見陳述など、具体的に市民参画を進めていることが印象に残った。傍聴者の数を増やすだけでも抵抗のある豊明市議会との格差は大きい。

また、議会の政策提案のために、事務局の政策スタッフや図書資料の充実を図ることは、これまでほとんど議論されてこなかったことであり、今後の課題と思った。

非常に多くの収穫があり刺激を受けたが、全国市議会議長会の主催でありながら、こういう研修に参加しようという議員が少ないのは、残念なことである。